

# ぴっぷ議会だより



プ  
ー  
ル  
っ  
て  
楽  
し  
い  
!

- 2 審議結果「6月定例会」ほか
- 4 一般質問
- 10 委員会の活動
- 13 北海道町村議会議員研修会報告ほか

6月24日 子ども水泳教室

# 第2回定例会 審議結果

主な審議内容をお知らせします

**第2回定例会**  
6月18日

定例会では、一般会計補正予算など議案12件を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問には、6人の議員から町の課題についての質問が出され、町の考え方や方針を問いました。各議員から出された一般質問は、4〜9ページに掲載しています。

## 報告

◆平成30年度比布町繰越明許費繰越計算書について

地方自治法に基づく報告で、公共下水道事業特別会計の下水道整備事業132万円を令和元年度に繰り越しました。

## 規約の変更

◆北海道市町村総合事務組合規約の変更について

◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

### 令和元年度各会計補正予算 (第2回定例会)

#### 一般会計(第2号)

1,560万6千円の増  
(総額41億4,660万6千円)

■プレミアム付商品券事業、森林環境譲与税基金積立事業の増ほか

#### 国民健康保険(第1号)

624万6千円の増  
(総額5億6,253万円)

■平成30年度決算確定に伴う基金繰入金の増、令和元年度保険税率の確定に伴う保険税の増など

#### 後期高齢者医療(第1号)

30万7千円の増(総額6,544万9千円)

■平成30年度決算確定に伴う繰越金の増

#### 介護保険(第1号)

42万2千円の増(総額6億906万円)

■介護保険法の改正に伴う補正

### 令和元年度一般会計補正予算 (第3回臨時会)

#### 一般会計(第3号)

671万円の増  
(総額41億5,331万6千円)

■保育料無償化に伴う事務処理委託料などの増

### ◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

各組合を構成する団体の一部が解散したため、規約を変更するものです。【原案可決】

## 条例

### ◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

国の法律改正に伴い、各選挙における投票管理者、同職務代理者等の報酬の額を、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律に定める額に改めるものです。【原案可決】

### ◆比布町税条例等の一部を改正す

### る条例について

地方税法等の改正に伴う条例改正です。【原案可決】

### ◆比布町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

国民健康保険の令和元年度保険税率などについての条例改正です。【原案可決】

### ◆比布町介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険法の改正に伴う条例改正です。【原案可決】

### ◆比布町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

国の省令改正に伴う条例改正で  
す。【原案可決】

## 補正予算

◆一般会計（第2号）

◆国民健康保険特別会計（第1号）

◆後期高齢者医療特別会計（第1号）

◆介護保険特別会計（第1号）

補正額と総額、主な内容は右ペー  
ジの表のとおりです。【原案可決】

### 意見書を提出

第2回定例会において、次のと  
おり意見書を採択し、それぞれ関  
係機関に提出しました。

◆新たな過疎対策法の制定に関す  
る意見書

【提出先】内閣総理大臣、総務大臣、  
財務大臣、農林水産大臣、国土交  
通大臣

## 第3回臨時会

### 7月29日

◆専決した事件の報告

一般公用車及び除雪車両の接触  
事故による賠償報告。

◆一般会計補正予算（第3号）

補正額と総額、主な内容は右ペー  
ジの表のとおりです。【原案可決】

## 全国町村議会議長会表彰



議会活動を通じ地方自治の進展のために大  
きな役割を果たした功績をたたえ、中本論議  
長ら4名に全国町村議会議長会から表彰状が  
贈られました。

受賞者には、6月18日開会の第2回定例  
会の席上で表彰状が伝達されました。

受賞者（敬称略）

中 本 論・澁 谷 興 二  
遠 藤 ハル子・八 巻 良 博

## 聞かせてください！ 傍聴の感想



一度、議会の傍聴に来てみたかつ  
たものの、平日の日中に開催され  
ているため、なかなか来ることが  
できませんでした。改選して間も  
なく、議員の皆さんが、どのよう  
な思いを持っているのか興味があ  
りましたので、傍聴することがで  
き、大変参考になりました。

いつも議会だよりを読んでいて  
感じるのが、議員の皆さんの質問  
後、行政でどのように検討したり、  
解決したのかわからないことです。  
課題をすぐに解決することは難し  
いと思いますが、議会だよりなど  
を通じて経過などを知ることがで  
きれば、さらに町や議会への関心  
が高まると思います。

また、議員さんの思いを聞く機  
会があればと思います。町のため  
にどのようなことをされているの  
かわかれば、議会に興味を持つ方  
も増えるのではないのでしょうか。

休日や夜間の開催、託児など、  
傍聴しやすい環境を調えることも  
大切だと思いますので、ご検討い  
ただけるとありがたいです。自分  
も仕事の都合があれば、また傍聴  
に来たいと思います。

（50代・男性）

これまででは、自分の生活に町や  
議会が直結することがなく、全く  
興味を持っていませんでした。し  
かし、ある団体の役職に就いたの  
をきっかけに福祉関係の事業など  
に参加するようになり、自分の意  
識が変わりました。

今回初めて議会を傍聴した理由  
は、福祉の会議でさまざまな課題  
を話し合うのですが、その話し合  
われたことがどのように実現して  
いくのか、また、それを実現させ  
るために必要な町の財政やその他  
の課題を知りたかったからです。

話し合いの場には町議さんも数  
名参加されていますが、一般質問  
で町に対し、自分たちが話し合っ  
たことを直接的に質問してくれて  
いました。それを聞いて、とても  
うれしく感じました。

機会があれば、また議会を聞き  
にいきたいと思います。

（50代・女性）

ありがとう  
ございます





# 介護施設現場、 訪問従事者の現状をどう打開するか

村中町長

## 町民や介護現場の声を 拾い上げられるよう努めたい



遠藤 ハル子 議員

□質問・遠藤議員

現場で働く従事者からは「辛い」「仕事量が多く走り回っている」「仕事量に見合う報酬でない」「休みが取りづらい」の声があります。

国が、この間すすめた要支援1・2の方の介護保険外し、市町村の事業化、ホームヘルプサービスの利用回数の制限、利用料本人負担を最大3割、介護施設の不足（特別養護老人ホームの待機者が36万人）などで、経営も大変と聞きます。安心して利用できる施設・在宅利用が今後保障されるのか心配です。

社会保障削減策の中で、追従してしまうのか、地方自治体が「住民福祉の増進」＝住民の福祉、命と暮らしを守るといふ本来の使命を果たしていくかの課題には、行政・経営者・現場従事者の共有が大切だと思います。

町長は、これらの現状をどう打開していくかを伺います。

■答弁・村中町長

平成27年に介護保険法を改正し、介護給付サービスの一部を



三平サロンで体操をする参加者

市町村が裁量権を持つ「地域支援事業」へと移管し、新たに地域住民主体の通所サービスとして「三平サロン」を開設しました。介護認定の有無に関わらず利用が可能で健康寿命延伸の一翼を担っています。

介護業界全体が慢性的な人手不足の要因の一つは、待遇面の整備が追い付いていないことが挙げられます。

高齢者の介護は大変な重労働であるにもかかわらず、低賃金のため、なかなか人が集まらない。そのため、少ない人手で回さざるを得ず、休みも取りづらく従事者が大きな負担を強いられています。現状があるとも伺っています。

昨年、東川町において外国人

留学生を介護人材に育成するため、北海道の自治体が連携して返済不要な給付型の奨学金を支給する試みとして「外国人介護福祉人材育成支援協議会」が設立されました。本町も、あそか苑と共に賛助会員として加入をしています。

介護保険制度の基本理念に基づき、高齢者の利用ニーズに対応した介護サービス基盤の確保と、求められる介護サービスを提供するための多様な人材の確保、介護離職ゼロを実現するためには、国や自治体、事業者、関係者が、同じ方向を向きながら、取り組むことが大切であると考えます。

常に国などの動向に注視しながら情報収集に努め、町民や介護現場の声を拾い上げられるようアンテナを張り巡らせ、住民福祉の増進に努めていきます。





一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

## 福祉財政に重きを置くべきでは

村中町長

### 町全体の課題に対し、 予算を適切に充当することが必要

□質問・植西議員

今後、福祉予算に多くの財政が割かれることとなります。どの分野かの予算を削って充てることになると思います。

財政の効率化が推進される中、これからのように運用されるのかお聞かせください。

■答弁・村中町長

特定の分野に絞って予算を削減するという考えではなく、効率的な財政運営に努めながら、町全体のさまざまな課題に対して最小の経費で最大の効果が得られるよう、限られた予算の中で適切に充当することが必要であると考えます。

□質問・植西議員

現在の福祉事業に不足があることは認識されていますか。

■答弁・村中町長

それぞれの時代に新たな問題が生じ、それに合わせた解決が必要だと考えており、十分である認識はありません。

□質問・植西議員

さまざまな時代のニーズを把握すべきまちづくり懇談会などで町民のニーズを把握するための工夫はしていますか。

■答弁・村中町長

広聴によって聞き取った情報は記録し、そのニーズには充分お答えしたいと考えています。また、私個人でさまざまな場所に出向き町民のお話しを聞いています。それらによって現場の状況を把握し施策を作る上で大切にしたいと考えています。

□質問・植西議員

予算を決める際にどのような基準で構成していきますか。

特に観光事業に関しては採算性を考えずに予算に入れるのは厳しい財政状況だと思えます。

スキー場は運営ベースでは採算性が取れているのに対し、良



良佳村エリア

佳村エリアは持ち出しばかりで町で自由に使える町税の四分の一弱を拠出しています。

■答弁・村中町長

地方において公共施設は、文化やスポーツなど住民の福祉の向上を第一に考えて建設されました。それらを今後、どのように生かしていくのかを考えていくほうがより建設的だと考えています。

□質問・植西議員

これから先20年くらいは高齢化率が高く、それから下がっていくだろうと考えられています。現在の財政は福祉財政に重きを置くべきではありませんか。

■答弁・村中町長

比布町では高齢者率は上がりますが高齢者人口は下がっています。また、財政は今のGDPが維持されれば、安定するようにも試算されています。今後の財政状況を見ながら住民の負担ができるだけないように努めます。



## 良佳村エリアの拡大と充実を

村中町長

### 民間事業者により魅力的なエリアに 全体として見直し検討が必要



安藤 裕子 議員

□質問・安藤議員

第12次比布町まちづくり計画の中にある良佳村エリア再整備の検討について、パークゴルフ場、テニスコート、キャンプ場などは交流人口を呼び込む重要な拠点であると考えますが、エリアの奥にある「つりぼり」に今後、水道を通すことで、トイレや水回りの設置が可能となれば、釣った魚を調理し、キャンプ場で食べる楽しみにもつながるのではないかと思います。観光や体験コースとして良佳村エリアの充実を望みます。

■答弁・村中町長

良佳村エリアは、本町の年間観光入込客数の9割以上を占める中心的な観光資源で、スキー場のほか、春から秋にかけての週末や夏休みなどには家族でキャンプを楽しまれるなど、ファミリー層の来場も多くあります。「つりぼり」が開設されている場所は町有地であり、民間事業者から使用申請があり、町として新たな遊び場として活用されることが見込まれ、良佳村エリア



良佳村エリアの奥にある「つりぼり」

の活性化、かつ民間事業者の利益向上にもつながる可能性が、あることから使用を許可しました。水道の引き込み等につきましては、具体的な協議は行っておりませんが、工事には多額の費用が生じることから、現状でご理解いただきたいと考えております。良佳村フェスティバルや泥んこバレー等の交流人口拡大イベントなど、施設間の連携事業などを行いながら集客に取り組んでおり、民間の事業者が良佳村で事業展開することで魅力を増すものと考えておりますので、引き続き連携してPRしてまいります。

□質問・安藤議員

民間事業者が良佳村エリアで

事業展開するには、事業者側だけの努力では何ともならない水回りの問題が大きいと思います。多額の費用が生じることとは十分理解できますが、水回りの設置に向けて、話し合われる予定はありませんか。

また、エリアの遊具についての安全面での点検、管理はどうなっていますか。今後、使用されなくなった遊具等についてはどのように対応していくのか伺います。

■答弁・村中町長

つりぼり敷地の地下水のボーリングにつきましては補助もありませんので、事業者と相談し検討していきます。

また、現在置かれている遊具は古くなり使用できなくなれば、撤去も必要かと思えます。

良佳村は開設から20年ほど経過しており、さまざまなメンテナンスが必要な時期であります。遊具が必要なのか、より自然を楽しむ場所が必要なのか、良佳村全体の見直し検討も必要かと思っております。



谷口 雅浩 議員

## 情報発信に対する町長の考えは

村中町長

### 楽しさが伝わるような情報発信で 関係人口の増を

□質問・谷口議員

第12次比布町まちづくり計画によりますと、高齢化や後継者問題などにより、本町の働く場は少しずつ減少し、農業分野においては、法人化や新規就農支援、商業分野においては、経営継承、空地空き家対策が必要とあります。

近年では、新規出店の流れがあり、それを止めないためにも、情報発信が重要と考えますが、町長の考え方を伺います。

■答弁・村中町長

空地、空き家は、新規出店に加え、移住、定住を促進するための受け皿になり得る重要な資源であることから、空地、空き家の情報発信は、私も議員と同様にとても重要であると考えております。

近年、人口の減少、高齢化や後継者問題を背景に、空地や空き家、空き店舗が増加し、特に放置されたままの状態、住民生活に危険が及ぶような管理不全の空き家については、行政として積極的に対応していく必要性が高まっております。

本町では、まちづくり推進室地域政策係を窓口とし、平成27年より宅建協会旭川支部と連携を行い、町のホームページと旭川不動産情報をリンクし、町内の空地、空き家の流動化促進政策に取り組んでおり、これまで42人が制度を活用し、34件の契約が成立しております。

また、高齢者世帯にとりましては、所有する不動産の整理が身近な問題として存在していることから、地域政策係を中心に、地域包括支援センターや比布消防署が連携を密にして、高齢者宅の訪問時には、健康なうちに将来の住宅等の処分方法についても、ご家族と共に考えていただくため、必要な情報提供を行っているところです。

今後は宅建協会、商工会とも連携し、一層の情報発信に努めてまいります。

□質問・谷口議員

ここ数年、町内に新しいお店ができてつあります。また、その方々の努力により、SNS等の発信で、遠くからこのお店に行きたいという方もおられるよ

うですし、やはり移住や新規出店を促すためにも町内の情報やイベントを通じて、「交流人口」あるいは最近いわれていきます「関係人口」を増やすことも必要ではないかと考えておりますが、いかがでしょうか。

■答弁・村中町長

人口減少が進む中で、町の住民基本台帳上の人口を増やすことは本当に大変なことではあります。交流人口、また比布町を気にしていただいております関係人口を増やすということは町の活性化、町に経済を循環させるという意味でも大変有意義で大切なことです。楽しさも伝わるような発信もしながら、関係人口の増加に努めてまいります。



SNSの活用を学んだエクスマ講座



# 民間タクシーの導入検討を

村中町長

## 本町独自の移動手段や 支援体制の研究を進める



今井 明信 議員

### □質問・今井議員

比布町内の高齢化率の上昇に伴い、移動手段についてはこれまでも多く論じられてきました。現在、車等を持たない、運転できない等の理由で比布町内を個人で移動する手段としては行政サービスの「びびたく」のみです。サービス開始来、一定の利用もあり、必要な交通手段であると認識はしています。しかし、行政も「びびたく」事業だけでは補完できないことも承知していると考えます。

次の2点について質問します。

①今日まで「びびたく」事業での利便性と不便性について。

②先の質問に基づき、「民間タクシー」を町として必要か否か、他の自治体の今後の導入検討や運営を参考にしているか等、行政としての考えを伺います。

### ■答弁・村中町長

現在、「びびたく」事業は対象者の拡充を図りサービス向上に努めています。移動支援は全国的に小規模な自治体にとつて極めて大きな課題となっています。

質問①について、利便性は移動が無料なこと、移動目的を問わないこと、週2回まで利用ができることが挙げられます。不便な点については、利用者の要件や回数に制限があり、町内のみでの運行であること、運

行が平日のみで利用時間が限られていること、予約状況によっては希望する時間に利用ができないこと等と考えます。

質問②の民間タクシーの必要性については移動手段の選択肢が増えることで、高齢の方だけではなく、全ての方が利用できるのが大変ありがたいと思います。しかし、新規に営業所を開設するには採算性等さまざまな要件があり、現実的には難しいものと思っています。本町独自の移動手段や支援体制が効果的に補完できるよう研究を進めます。なお、検討に対する予算はゼロですが、今後、検討はしていきます。

### □質問・今井議員

現在、「びびたく」の登録者数は185名です。登録数が低いのは利用しづらい、町内でしか利用できないことが考えられます。「びびたく」の事業費の採算性について伺います。

### ■答弁・村中町長

利用者数が少ないということですが町の予算を使って運行していますので、町外でお金を使うために町内の税金を使うのは難しいと思います。町内で買物等をするなどで町内の経済が少しでも回るのであれば、採算性はゼロでは無い

と思います。

### □質問・今井議員

新規の営業所登録は難しいようですが、あるタクシー会社に意向を打診したところ、営業車両をチャーターすることができると回答をいただきました。例えば請負業務契約などを行えば、可能であるということを行いました。費用負担の支出割合等ありますが、非常に現実的と考えます。タクシー業界も高齢者支援というものを非常に重んじているようです。また、町民の大部分の方は町内だけで生活が完結しておりません。医療圏、買い物圏内は旭川市が入っており旭川を行き来しない生活というのは現在、町内では考えられない状態です。旭川に行けることも含め民間導入の移動支援を考えてもらいたいと思います。

### ■答弁・村中町長

民間の活力は常に考えていますが、以前伺った会社は相当高い金額でした。日常生活については比布だけで完結しませんし、旭川市の経済も必要だと思いますが、公費を投入して旭川で消費することは難しいと考えます。仮にタクシー会社が来ても、町内だけに限るか、バス停まで、JRまでということになるかもしれません。





## 比布駅駐車場の再整備を

村中町長

少しでも利便性が高まるように進めたい



佐藤 康則 議員

比布町型賃貸住宅建設促進事業と町営住宅の役割分担について

■質問・佐藤議員

民間集合住宅は平成11年より建設補助と平成29年からの入居促進事業を導入し、現在19棟・92戸が建設されています。

今後、官・民集合住宅の耐久年数、先行きの人口動態を考慮するとき、町住戸数を極端に抑制する必要があると懸念するが所見を伺います。

■答弁・村中町長

子育て世代の移住・定住を目的とすると、公住だけでの対応は困難で現況戸数を常に分析し検討していきます。また、民間事業者ともまちづくりのパートナーとして積極的に協力関係を築き、移住・定住を進めていきます。微増ではありますが成果は出ています。

■質問・佐藤議員

特定企業との結びつきを行政から強めている印象を受けます。

過度にならぬよう対応し、最終決断は行政であり、その立場・立ち位置を堅持した上で行政執行を行っていただきたいと考えます。

■答弁・村中町長

公序良俗に反することのないよう今後も民間企業とは連携を保持し、疑念のないよう努めてまいります。

公益社団法人との連携について

■質問・佐藤議員

町内の空き地・空き家流動化対策における公益社団法人との連携で、

その団体は内部機関で不動産情報提供システムを構築後、別個の株式会社に業務を移管し運営しています。

公益社団法人旭川支部との連携が適正か、また先方に不都合が無いか今一度ご確認いただきたいと思えます。

■答弁・村中町長

先方より、疑義や事業協力解除の旨は聞いていませんが、内部で研究し、確認します。

比布駅駐車場の再整備計画について

■質問・佐藤議員

比布駅前広場の身体の不自由な方・高齢の方への専用駐車場確保については、昨年7月の臨時会で再整備費250万円の補正承認をしましたが、JRとの最終協議が折り合わず実施に至っていません。合意に至らなかつた経緯を伺います。

■答弁・村中町長

その経緯はJRの担当者との協議を進め一旦は合意に至りましたが、その後、担当上司より歩車道分離に疑義が上がり、決裁が下りず未執行となりました。

補正をしたにもかかわらず、執行できなかったことは率直におわびを申し上げます。

■質問・佐藤議員

冬期除雪と駐車スペース不足が新たな課題となり、町民の利活用を促進する上で部分改修を急ぐか、総合整備の計画かを伺います。

■答弁・村中町長

現段階では大規模整備は考えていません。

JRとは現在の駅前広場を交流スペースとすること、歩車道分離の安全確保で整備計画の許可を得た経緯があります。現状の駐車場が飽和状態であること、JRやピカフェ利用者への利便性向上を引き続き申し入れ、双方が歩み寄れるよう協議を進めます。

■質問・佐藤議員

歩車道分離・専用駐車場の確保と冬期除雪の妨げになる原因は中央の植樹帯にあると思います。植樹帯を側方に移動し、脱着式と可動式の車止めフェンスを設置し、確実な歩車道分離でJRとの再協議に臨めたいか。

また、先日交差点内で駐車し乗降動作中の高齢車両に前後、両方向から通行車が接近し、大変危険な場面に遭遇しました。

これまで何度も申し上げてきましたが、安全に活用できる専用駐車場を早急に確保していただきたいと思えます。

■答弁・村中町長

この植樹帯とイルミネーションは冬期間十字街の交差点からも見える位置に設置し、より多くの町民の方に楽しんでいただけるよう配慮をしたつもりです。

少しでも利便性が高まるよう進めたいと考えますので、どのような整備方法がよいか、JRとも協議させていただきます。

# 委員会の活動

activities



## 総務常任委員会

6月10日開催

### 【税務住民課】

#### 《報告事項》

■ 町税等の調定及び収納状況

■ 上川広域滞納整理機構の収納状況

Q 滞納整理機構へ引き継いだ効果率と新しい手法は。  
A 差し押さえ、財産調査などで対策強化している。

■ 戸籍及び住民登録人口等の推移

【説明】ご当地婚姻届は24件、うちブライダル大作戦事業活用者は12件



ブライダル大作戦

#### 《協議事項》

■ 比布町税条例等の一部改正（案）  
【要旨】ふるさと納税制度の見直し、住宅借入金等特別税額控除に係る改正、軽自動車税の税率の特例に伴う改正などの一部が改正された。

#### 【保健福祉課】

#### 《報告事項》

#### ▽福祉係

■ 高齢者移動支援（ぴぴたく）利用状況  
【説明】平成30年4月から対象者を拡大したが181人、週1回利用者33人、週2回利用者148人

Q まだ余力があるのか。  
A 予約が重なるときもあるし、一日1〜2件のときもある。



ぴぴたく号

■ 高齢者等の冬の生活支援事業状況等  
【説明】対象世帯300世帯のうち申請者は234件。助成世帯は前年より6世帯の減

Q お知らせ方法は。  
A はがき、防災無線で周知している。

■ くるみ保育園入所児童数  
■ 児童手当等の支給状況  
■ 障害者自立支援給付実績及び利用状況

#### ▽保健係

■ 健診等結果状況等  
Q 自閉症スペクトラムの検査を実施できないのか。  
A 自閉症スペクトラムの診断は、幼児健診でも判断が難しい。団体生活の中で気がつくことが多く、専門機関で経過を見ていく中で診断がつくため、検査をすすぐにわかるものではない。

▽衛生係  
■ 合併処理浄化槽設置状況  
■ ぴっぷクリニック診療報酬等収納状況  
■ 公衆浴場利用者状況  
■ 火葬場使用状況

#### ▽介護保険係

■ 介護保険特別会計決算見込  
■ 介護給付費の推移  
▽地域包括支援センター  
■ 地域包括支援センター運営実績  
■ 地域包括支援センター事業計画  
■ 介護予防事業

#### ▽国保医療係

■ 国民健康保険特別会計決算見込  
■ 後期高齢者医療特別会計決算見込

■ 令和元年度国民健康保険税（案）

【説明】北海道が定めた納付金に基づき、保険者が被保険者から応能割（所得割・資産割）と応益割（均等割・平等割）で保険税を算定し、道へ1億800万円を納付する。基金の残りを赤字補てんするべきでないとの国の考え。基金は受診率向上やシステム稼働改修の時にしか使えなくなった。被保険者961人のうち、軽減者は567人で約60%。第2号保険者（40〜60歳）334人は前年より負担感が増す保険税となる。



#### 《協議事項》

■ 6月定例会提出議案の説明

◇ 国民健康保険税・介護保険条例の一部を改正する条例

◇ 一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・

介護保険特別会計の補正予算  
(案)

■保育園待機児童対策等に向けた今後の方向性

【説明】子育て支援の観点から利用のニーズも増加している。預ける施設がないと移住の対象にならないとの意見もある中、くるみ保育園は老朽化（おゆうぎ室は築50年以上経過）しているため、今後認定こども園への移行も含めて検討していく。

■比布町立診療所指定管理者選定について

■びつぶクリニク死亡診断書料過誤納付金返還手続きに係る進捗状況

Q返還できたのが少ないのではないのか。

A 10%の人へ返還できたが、身内の方がすでに死亡、町外に転出など困難な人もいる。早急に返還処理を進めるよう指導している。



町立びつぶクリニック

〔生涯学習課〕

《協議事項》

■比布町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正(案)

【説明】これまで都道府県が行う研修を修了しなければ放課後児童支援員の認定資格を得られなかったが、国の省令改正により、札幌市を含む指定都市が行う研修を修了した者も放課後児童支援員の認定資格を得られるようになった。

また、学校教育法の改正により、大学制度の中に新たな高等教育機関として専門職大学が設けられたことに伴い、放課後児童支援員の資格要件に専門職大学の前期課程の修了者が追加された。

■教育費補正予算(案)

《報告事項》

■教育委員会機構図

■学校給食費会計の決算状況

■社会教育施設の使用料等

Qびつぶ球場に水がたまるが暗きよ排水の計画はあるか。

A 今のところ計画は予定していない。利用者が自分たちで水抜き作業をしている。

Q旧蘭留小学校の今後の使い方は。

A 総務企画課管理へ移し考えていく。

■図書館の利用状況等

■児童生徒数と学級編制数等

■小中一貫教育推進事業計画

■学校運営協議会事業計画

■スクールカウンセラーの配置

Q家庭への訪問も可能か。

A 基本的には学校に來校してもらい相談をするが、場合によっては訪問も可能。

■スクールソーシャルワーカーの配置

■運動と脳の活性化事業

■君の夢プロジェクト推進事業

■スポーツ少年団、公民館教室等の加入状況

■所管施設工事発注状況

◇中央プール・プール槽改修と図書館屋上防水改修工事の状況



子ども水泳教室

〔総務企画課〕

《報告事項》

■第2回議会定例会提出議案

■町債繰越明許費

■比布町各会計決算見込み

■ふるさと納税状況

Q返礼品は寄付金額の3割以内だが、返礼品の金額は販売価格か。

A 返礼品の金額は販売価格。原材

料の9割が地元産か、町内で製造・加工されたものが返礼品として認められる。

■JR北海道に対する地域支援について

【説明】沿線協議会が支援主体となり維持困難線区において、定時性や利便性、快適性などの利用促進に資する投資的経費を対象とすることになった。沿線自治体負担割合は道7割、沿線市町村3割で、令和元年度は2億円のうち宗谷線は790万円に決定された。

Q負担は2年間と確定されたのか。

A 国の補助が2年間あるということが条件で、沿線自治体でも負担することになった。その後については今のところ不透明な状況。

■友好交流事業

■その他

◇公共施設の禁煙対策

◇選挙管理委員の補充

《協議事項》

■第2回議会定例会提出議案

◇公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

◇北海道市町村総合事務組合規約の変更 他2件

◇特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

■第2期比布町まち・ひと・しごと

と創生総合戦略について

【高齢者住宅の建設は】

Aサービスタ付き高齢者住宅は本町のニーズと合わない部分があると思われる。古くなった公住をリノベーションして安価に貸す方法も検討したいと考えている。

■会計年度任用職員制度の導入について

総務常任委員会

7月29日開催

【保健福祉課】

《協議事項》

■一般会計補正予算(案)

【総務企画課】

《報告事項》

■専決処分について

**産業建設常任委員会**  
6月6日開催

【産業振興課】

▽農林部門

《報告事項》

■各農作物の作付計画

◇水稲作付 146戸

面積 1,495・322畝

【説明】2年目の自主的生産調整非

参加者が3戸であるため、引き続き協力を求めていく。

■経営所得安定対策について

■産地交付金の活用方法

◇国・道との事前協議中

■農業振興に係る町単独補助事業の申請状況

◇農地流動化促進対策事業  
□売買支援 申請件数7件  
継続件数10件

◇園芸ハウス導入支援事業

◇いちごの活力創造事業(苗購入費の1/3以内)

■ぴっぴいちご振興事業

◇新たな生活モデル確立実証事業

冬いちご実証栽培(11月〜3月の冬期間)ハウス施設

◇道内いちごの新品種「ゆきキラ」栽培の取り組み



いちごの新品種「ゆきキラ」

《協議事項》

■令和元年度補正予算(案)について

◇農業用ハウス強靱化緊急対策 10戸/27棟/72万7千円

◇森林環境譲与税基金積立事業 130万円

▽商工・観光部門

《報告事項》

■平成30年度各施設の利用状況

◇ぴっぴスキー場リフト使用料 7,270万2,091円

◇グリーンパークぴっぴ使用料 476万3,344円

熊の出没、融雪の遅れによりオープンが遅れたこと、また天候不順の影響により減収となった。



パークゴルフ大会の様子

《協議事項》

■第3期遊湯ぴっぴ指定管理者の選定について

◇募集及び選定スケジュール

【建設課】

《報告事項》

■建設工事の発注及び進捗状況について

◇町営住宅

(仮称)北町令和団地A棟 他4件

◇土木維持補修工事

栄園橋照明灯更新工事 他11件

◇建設課以外の工事

中央プール・プール槽改修工事、

火葬場建替工事、図書館屋上防水改修工事 他1件

■公共下水道事業

◇繰越明許費 132万円

【農業委員会】

《報告事項》

■平成30年度農業者年金加入相談状況

◇農地の権利移動、転用、適正化あつせん業務等の状況について

■令和元年度活動計画

(1) 担い手育成対策

(2) 地域農業振興対策

(3) 遊休地対策

■農地法及び基盤整備強化促進事業について

■農地中間管理事業について

**産業建設常任委員会**  
7月18日開催

【産業振興課】

《報告事項》

■第3期遊湯ぴっぴ指定管理者の選定について

【建設課】

《報告事項》

■除雪車両事故について

# 北海道町村議会議員研修会

6月25日(火) / 札幌コンベンションセンター



政治評論家 有馬晴海氏



中央大学名誉教授 佐々木信夫氏



6月25日、札幌コンベンションセンターにて研修会が開催されました。

全道144町村約1,500名の議員が参加し、政治評論家の有馬晴海氏の「どうなる？ 今後の日本政治」と「政治は変わるか～議会はどう変わるか、自治体をどう変えるか～」と題して中央大学名誉教授佐々木信夫氏の講演が行われました。

憲法改正、消費税増税問題など少子高齢化や財源・資源、空き家対策など話題は尽きず、多くの話をさせていただきました。

「高齢化率は上昇しているが、健康状態が改善していることから高齢者の定義を65歳以上から75歳以上にしてはどうか」など高齢者の働き方の変化について話されていたのが印象的でした。

人生100年時代と言われる中、節約や貯蓄をし、老後に備えようとするのが当然のことだと思います。

しかし、それでは国は発展しない。そのためには、何をしていくか。少子高齢化・財源不足・資源がないと言われる中、地方がしていくことは何かと考えさせられました。

これからのまちづくりに、魅力を感じるようなアイデアを出し合い、未来を見据えた姿を思い描きながら活動していきたいと思う講演となりました。

大熊 勝幸

## 議員の嚴重注意処分について

近年、インターネット普及が進みSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は住民向けの情報発信の手段として様々な活用がされています。

その反面、内容によっては閲覧者に無用の誤解や不快な思いを与える可能性もあり、法律に反しないことはもちろんのこと、議会議員の発言は更なる良識が求められるものです。

過日、植西浩一議員がSNSに掲載した内容について、当議会に対し関係者から抗議があったことから議員全員協議会を開催し、植西議員からの説明を求め協議を行いました。

植西議員は、指定管理者制度の問題点を皮肉めいたような言葉で記載したもので違法性がないとして「抗議を受ける理由はなく、訂正や削除等の考えはない」と主張しました。

しかし、その表現が法律に反しない内容であったとしても町民や関係者に無用の誤解や不快な思いをさせることは、公職である議会議員として当然認められることではありません。

議員全員協議会においては、植西議員の議会内の発言で注意をした経過もあり、今回議会に対し疑義の抗議文が提出されたことは、議会全体の信用を失墜させる行為であるとして、令和元年7月9日、本件について当該SNSの掲載削除を求めるとともに植西議員を嚴重注意処分としました。

比布町議会議長 中本 諭

# 議会のうごき

## 6月

- 6日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 7日 上川地方総合開発期成会定期総会及び専門部会 (旭川市、議長)
- 8日 まちづくり講演会 (福祉会館、各議員)
- 10日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 11日 北海道町村議会議長会定期総会及び研修会 (札幌市、議長)
- 14日 老人スポーツ大会 (町体育館、議長)  
議会運営委員会 (役場、委員・議長)  
大雪消防組合議会臨時会 (美瑛町、組合議員)
- 16日 陸上自衛隊第2師団創立69周年・旭川駐屯地開設67周年記念行事 (旭川市、議長)  
比布ライオンズクラブ結成40周年記念大会 (改善センター、議長)
- 18日 第2回議会定例会 (役場、全議員)  
議員全員協議会 (役場、全議員)  
議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 20日 大雪浄化組合議会臨時会 (役場、組合議員)  
愛別町外3町塵芥処理組合議会臨時会 (役場、組合議員)
- 22日 東京比布会総会 (東京都、議長)
- 24日 観光協会通常総会 (商工会館、議長)
- 25日 北海道町村議会議員研修会 (札幌市、各議員)

- 27日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)  
上川町村議会議長会役員会 (東川町、議長)
- 28日 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会要望活動 (札幌市、議長)

## 7月

- 2日 比布消防団夏季演習 (百年記念公園ほか、全議員)
- 3日 第6回大雪分会消防訓練大会 (東川町、議長)
- 7日 くるみ保育園運動会 (町体育館、議長)  
札幌比布会総会 (札幌市、議長・各議員)
- 9日 新任議員研修会 (札幌市、新任議員)
- 13日 旭川比布同郷会ふるさと訪問 (遊湯びっぶ、議長)
- 18日 議会広報特別委員会 (役場、委員)  
産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)  
産業建設常任委員と青果振興会との研修会 (上川農業試験場ほか、委員)
- 29日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)  
議会運営委員会 (役場、委員・議長)  
第3回議会臨時会 (役場、全議員)  
大雪浄化組合議会臨時会 (愛別町、組合議員)  
愛別町外3町塵芥処理組合議会臨時会 (愛別町、組合議員)

## 編集後記



いちご狩り、びっぶ良佳村フェスティバル、泥んこだらけのバレー大会、比布神社例大祭が終了して、七夕天国、仮装盆踊り大会など、イベント真っ盛りのシーズンになりました。町内では歓声や笑い声が響き渡り、年間を通して一番賑やかな時期ですね。

さて、6月18日の定例会では、6名の議員による一般質問が行われ、介護保険制度、予算編成、良佳村エリア、情報発信、びびたく事業、集合住宅、駅周辺についてなど、活発な論戦が繰り広げられました。

また、6月25日には町村議員研修会が札幌市で開催され、会場には1,500名を超える議員が集まり、その中でSNSで繋がっている議員さんと会うことができました。お互いに初対面でしたが、相手のことは知っていましたので、久しぶりに会った友人のようでした。エクスマセミナー以降、町民の情報発信によって交流人口、関係人口が少しずつ増えてきているように感じますね。これからの比布を町民全体で盛り上げていきましょう。

来月には、収穫の秋を迎えます。農作物の豊作をご祈念申し上げ、編集後記といたします。

(谷口 雅浩)